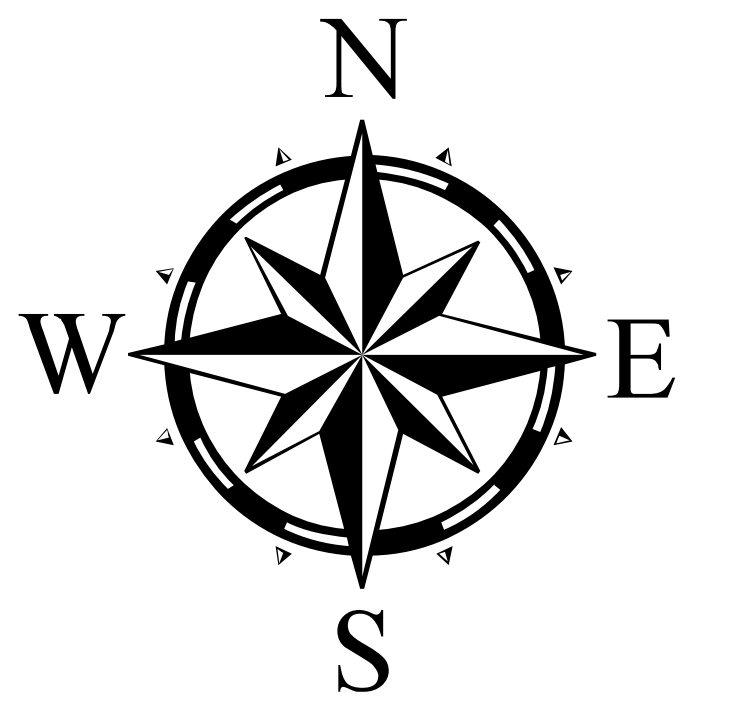
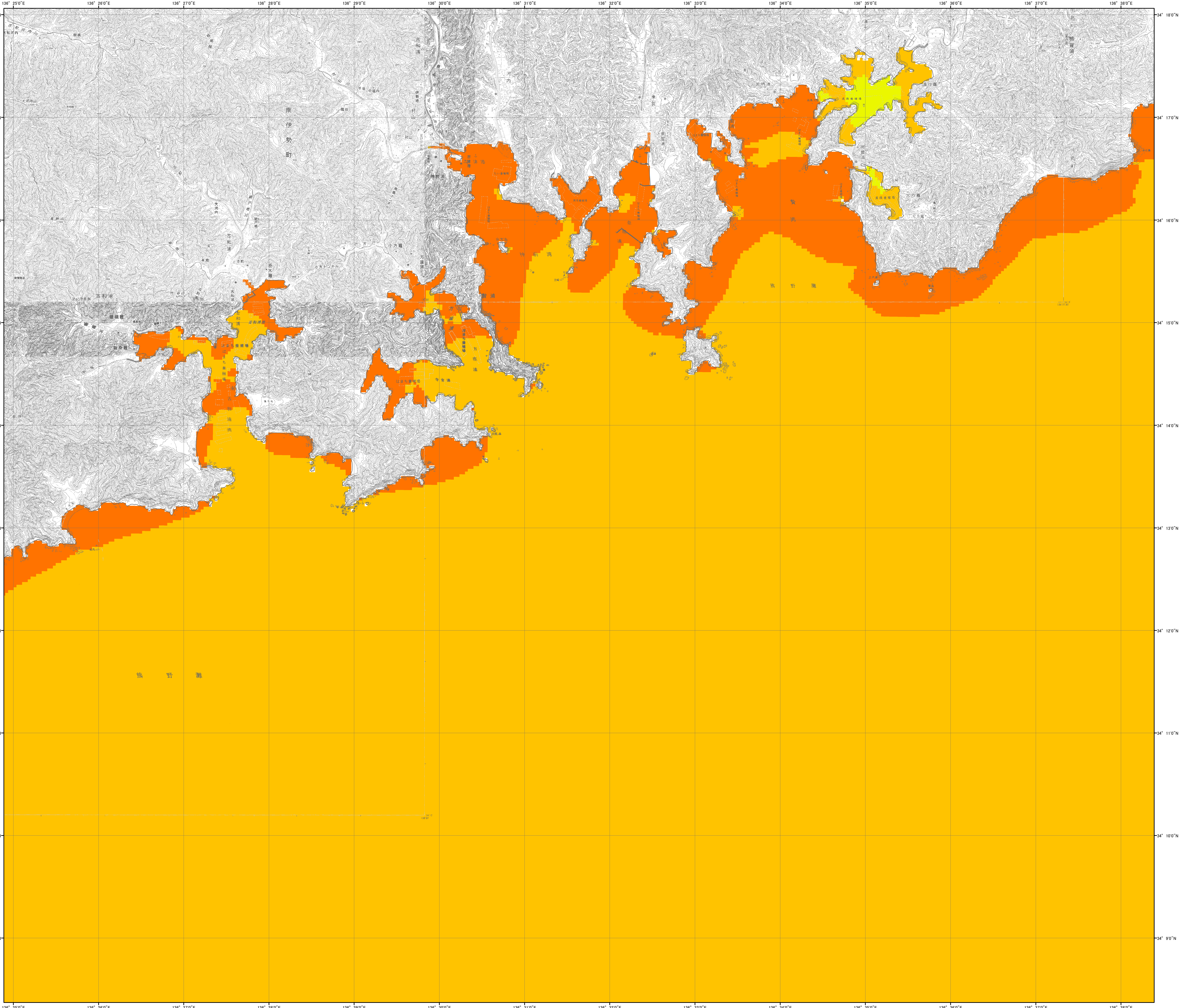


# 賛湾至古和浦湾 最大水位上昇マップ

計算条件：最高水面（零位）  
 隆起量：平均 -82cm (-103cm ~ -38cm)  
 Zo：1.10m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

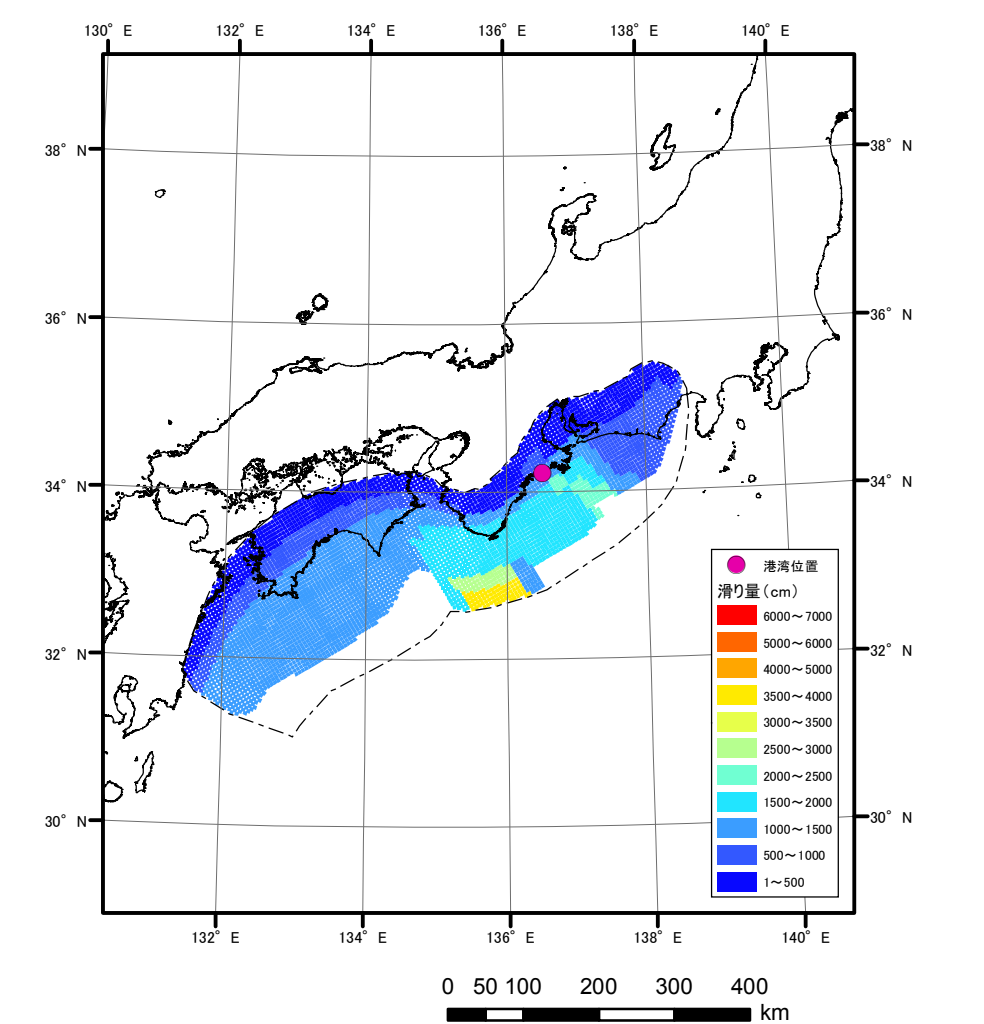


座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

- 最大水位上昇
- 10~最大19.4m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満

## 断面モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域+（超大すべり域、分岐断層）』」

|                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 断面面積 S (km <sup>2</sup> ) | 140,000                |
| 地震モーメント Mo (N·m)          | 5.3 X 10 <sup>27</sup> |
| 平均すべり量 D (m)              | 8.8                    |
| モーメントマグニチュード Mw           | 9.1                    |

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が作成する津波防災情報網に使用したデータ  
 ・背景図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1474号)

